

# こだわり野菜 瀬祭とコラホ

下野・海老原ファーム

## 食通向けセツト販売

野菜生産の海老原ファーム（下野市田中、海老原秀正代表）は、野菜セツトと旭酒造（山口県）の清酒「瀬祭」を詰め合わせた「エビベジ×瀬祭」を商品化した。同ファームの野菜は主に業務用として「エビベジ」ブランドで高級ホテルなどで使用されているが、新型コロナウイルス感染症により需要が大幅に落ち込み、行き場を失っていた。新セツトは食通に向けた販路開拓につながりそうだ。

（伊藤一之）

### 酒米「山田錦」の取引縁に

同ファームは約2畝の農地（約1畝はビニールハウス）で約100種の野菜を通年で栽培する。可能な限り農業を使わず、水やりを極力抑えて野菜自らが地中の水を吸収し、葉や実に蓄えることを重視している。こうした農法の野菜は香り高く味が濃いとされ、一流シェフたちの目に留まり、都内などのホテル、レストランで重宝され、百貨店売

り場にも並ぶ。今上天皇即位の礼の晩さん会でもカブ、ニンジン、ジャガイモ、スティックパロココリ、パブロンクの

し、レストランが軒並み営業を自粛・縮小し、半分ほどの野菜が廃棄された。飲食や文化などを体験する交流会「ギリークラブ」（東京都文京区）の渡辺幸裕主宰が事情を知り、全国の会員約4千人にエビベジ野菜ボックスの購入支援を呼び掛け、同ファームは全廃棄を免れた。

この間、同ファームが酒米の山田錦で取引がある旭酒造の桜井博志会長から「エビベジ×瀬祭は、11〜13種の季節野菜と「純米大吟醸磨き二割三部」20ミリのセツト3種（送料込み6650〜1万3900円）と瀬祭180ミリの入った小セツト（同5千円）。地域により送料が異なる。

酒類卸・横倉市がオンライン。問横倉本店 6・7777。



エビベジで提供する野菜と海老原代表一之、下野市



純米大吟醸「瀬祭」磨き二割三部の入った「エビベジ」野菜大セツト